



那須町と 近現代の人々

vol.11



渡辺龍瑞(1914-1995)

11月号は、専称寺の住職であり、考古学者の渡辺龍瑞を紹介しします。

渡辺龍瑞は伊王野村出身で、小学生のころハケットンヤ遺跡(稲沢)の土器・石器採集を開始し、藤沢中学校・大正大学専門部仏教科を卒業後、昭和9年に帰郷し、専称寺住職を勤めながら考古学の研究に勤しみました。帰郷後は、足利の丸山瓦全指導の下、石塔や梵鐘の調査研究を行いました。

昭和16年、那須古文化研究所を設立するも、同年・昭和19年に応召され研究の中断を余儀なくされます。応召中は、上官に那須の石鏡を持参するよう命令された後日談が遺されています。

氏は戦後も精力的に活動します。昭和23年、栃木県唯一の日本考古学協会員に推薦さ

れると、昭和26年には、大山

柏(大山巖次男)の推薦で栃

木県文化功労者表彰となります。

昭和27年以降は、宇都宮

大学辰巳四郎の要請に応じ、

那須地区の縄文遺跡の発掘調

査に協力しました。那須町内

だけでも、西ツ原遺跡、追の

窪遺跡、釈迦堂山遺跡、脇沢

遺跡、迹室遺跡、門場遺跡な

どがあります。一部の発掘作

業には那須高校など近隣高校

の生徒らも参加し、そこから

多くの研究者が育ち、各地で

活躍しています。また、発掘

調査の成果は那須町内で発行

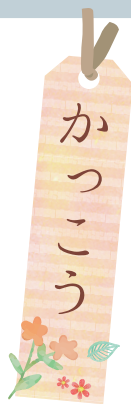
された同人誌『白桃』や伊王

那須町誌には、渡辺龍瑞が執筆し紹介した那須町の遺跡が書かれています。渡辺龍瑞が後世に遺した町の歴史を今一度読み直し、太古の昔から続く那須の歴史を多くの町民に知っていただきたいと思



問合せ

那須歴史探訪館
☎747007



秋は雲を眺めるのいい季節です。うろこ雲やいわし雲、さば雲さらにひつじ雲などと呼ばれる、秋の空特有の雲を見ることが出来ます▼魚のうろこのように、小さな雲の塊が空の高い所に広がる「うろこ雲」、それより低い所に、もこもこの毛をした羊の群れのように見えるのが「ひつじ雲」です。「うろこ雲が出たら3日のうちに

雨」「ひつじ雲が出ると翌日雨」ということわざもあることから、雲は、私たちの生活に身近なものであったと思われまます▼その他に、秋のように高い所に雲が出るときは「彩雲」と呼ばれる雲を見つかる機会が多くなります。彩雲とは、太陽の近くを通りかかった雲が、赤や緑などさまざまな色に彩られる現象のことをいいます。見た人には幸せが訪れるとか、これが現れることは吉兆などといわれている雲です。うろこ雲やひつじ雲な

どが太陽のすぐ近くにある時、注意して空を眺めていると、鮮やかな虹色に染まる雲に出会えるかも知れません▼ある日の夕方、ふと空を見上げると、淡い水色の空に、同じく淡いピンク色の雲が浮かんでいました。その様子が何とも美しくはかなげで、私はしばらく魅入ってしまいました。「空が恋をしてる」思いがけずそんな言葉が浮かんだことに、自分でも少し驚きながらも、ふんわりと優しい気持ちのまま家路に就きました。

こんにちは

赤ちゃん



令和4年3月生まれ

なりた りく
成田湊空くん

りくくんは...

満面の笑顔、その笑顔にパパとママは毎日癒されていますよ♡

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

町の世帯と人口

(10月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

•世帯数	10,659世帯 (+32)	出生	8人 (+3)
•人口	24,385人 (+7)	死亡	30人 (-14)
男	12,145人 (+5)	転入	83人 (-2)
女	12,240人 (+2)	転出	54人 (+1)
		その他	2人

広報那須がスマートフォンなどで読むことができます



マチイロ

